

■「神奈川県がん対策推進計画」改定素案のパブリックコメントに係る「県の考え方」

■期間：令和5年12月14日（木）～令和6年1月13日（土）

＜内容区分＞

- ア 計画改定の趣旨、取組の方向性
- イ がんの未病改善
- ウ 患者目線に立ったがん医療の提供
- エ それぞれの立場で進めるがんとの共生
- オ 推進体制及び進行管理
- カ その他

＜反映区分＞

- A 新たな計画案に反映するもの。
- B 新たな計画案には反映していないが、意見の趣旨を既に計画案に盛り込んでいるもの。
- C 今後の政策運営の参考にするもの。
- D 反映できないもの。
- E その他(感想や質問等、A～Dに該当しないもの)

受付番号	内容区分	意見の概要	反映区分	県の考え方
1	エ	学校でがん教育を行う際は、がんによって家族をなくした児童生徒への十分な配慮をしてほしい。	B	がん教育における児童・生徒への配慮については、引き続き十分留意して進めていきます。
2	イ	HPVワクチン接種については、安全性・有効性・必要性の視点から、学校でHPVワクチン接種を勧めることは差し控えたい。	C	子宮頸がんとHPVに関する理解を促進するにあたり、十分留意します。
3	イ	有効性・安全性・必要性の視点から、中学生へのピロリ菌検査は学校が直接検査に関わらない形で行ってほしい。	C	学校でのピロリ菌検査については、市町村や関係機関等の意見を聞きながら、今後の方向性を検討します。
5	エ	がんの原因について、生活習慣病として捉えないという医師の意見もあり、扱いがとて難しくなっているが、がん教育で何を教えるかを明確にしてほしい。	B	がん教育は、学習指導要領や「神奈川県がん教育ガイドライン」に基づき進めていきます。
9	カ	がん予防として、自助努力だけでは対応できない環境問題などにも取り組んでほしい。	C	がん予防に関連付けた環境問題などについては、今後の検討課題として参考にさせていただきます。
10	カ	素案の公表方法について、意見をいただきやすいように工夫が必要ではないか。	C	次回計画の改定の参考にさせていただきます。
11	ア	前回計画の分析・評価については、分析結果や改善点などを詳細に記載するといいいのではないか。	B	分析結果や改善点は、一括してまとめるのではなく、各項目の【課題】や【施策】の中に盛り込んでいます。
12	ア	中間評価・進捗管理を実施するべきではないか。	B	中間評価を含めた進行管理を実施していきます。
13	イ	がん検診の受診率を上げる施策として、デジタル・データを活用した記載を追加するのどうか。	C	がん検診受診率向上の取組を検討する中で、具体的な活用を検討します。
14	ウ	がんゲノム医療の提供において、遠隔医療等を用いた医療連携体制の構築を視野に記載するのはどうか。	C	がんゲノム医療の提供を推進する具体的な取組を検討する中で、参考にさせていただきます。
15	ウ	支持療法の推進及びチーム医療の推進の中に「薬剤師」を追加してほしい。	B	前者には「多職種」として、後者には「薬剤師」として記載しており、薬剤師は重要な専門職と認識しています。
16	ウ	緩和ケアの人材育成・普及啓発の項目は、がん医療の提供の中の緩和ケアの提供に一本化した方がいいのではないか。	D	国の計画を参考に二つに分けていますが、次期計画作成の際の参考にさせていただきます。
17	エ	ピアサポーターによる相談支援について、県がピアサポーターの取組を推進している理由を追記するのはどうか。	B	がん患者及びその家族のための重要な取組として記載しています。
18	エ	情報提供について検討する前に、患者が望んでいる情報や情報提供のタイミングなどの現状を把握する必要があるのではないか。	C	情報提供の取組を進めていくうえで、患者等の希望を聞きながら進めていきます。
19	エ	新たに作成する情報ツールを様々な拠点病院、薬局、保健所等に設置することについて記載するのはどうか。	C	情報提供の取組を進めていくうえで、参考にさせていただきます。
20	エ	ピアサポーター活躍の場を増やすとは具体的にどのようなことを示しているのか記載するとよい。	B	特に拠点病院・指定病院における患者サロンやピアサポーターによる相談窓口を考えています。
22	エ	動画等のデジタルを活用した授業の実施の文言を追記はどうか。	C	がん教育の取組を進めていくうえで、参考にさせていただきます。
23	オ	ロジックモデルについて、初期アウトカムの左側に全ての施策の記載が必要だと思う。施策の目標値とアウトプット指標も作成が必要だと思う。	C	ロジックモデルを作成するにあたって、参考にさせていただきます。
24	エ	学校でがんについての授業を行う際は、家族や本人ががんの当事者である場合に十分な配慮が必要であることを研修等で伝えてほしい。	B	これまでの教員向け及び外部講師向けの研修会等において、生徒への配慮の大切さを伝えてきましたが、今後も継続していきます。
27	イ	学校の定期健康診断の尿検査でピロリ菌検査を行う等、学校現場に医療を介入させることを良しとするような文章は入れないでほしい。	B	意見の趣旨を踏まえ、記載内容は変更しない方向で進めます。

28	カ	施策が県民に届いていない。	C	施策を進めていくうえで、十分留意していきます。
29	カ	死因の多くを占めるがんについて、身近に感じることができるようになっているため良いと思う	E	御意見ありがとうございます。
30	カ	がんについて学び、向き合うことの大切さが計画には含まれているので実践していけたらいいと感じる。	E	御意見ありがとうございます。
40	ア	全体目標について、国と同じように県も「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民とがんの克服を目指して」ほしい。	A	御意見の趣旨を踏まえ、修正します。
41	ウ	がん診療連携協議会に患者委員として参加し、患者の声を届けさせてほしい。	B	県がん診療連携協議会への患者やその家族の参画について記載していますので、その中で取組を進めていきます。
42	エ	就労支援においても、がん患者団体・ピアサポーター等を活用することを計画に盛り込んでほしい。	B	患者団体等による就労支援についても記載しています。
43	エ	アピアランスケアにおいても、がん患者団体・ピアサポーター等を活用することを計画に盛り込んでほしい。	A	御意見の趣旨を踏まえ、修正します。
44	ウ	希少がん・難治性がん対策の施策として、治験の情報提供をしてほしい。	A	御意見の趣旨を踏まえ、修正します。
45	ウ	希少がん・難治性がん対策の施策として、希少がん毎の相談対応者リストを作成し、その者に相談をつなぐ体制を構築してほしい。	C	希少がん・難治性がん対策の取組を進めるにあたり、参考にさせていただきます。
46	エ	就労支援の施策として、労災保険制度についての情報提供を追加してほしい。	C	がんサポートハンドブックへの掲載を検討します。
47	エ	がん患者の自殺対策として、がん相談支援センターにがん種ごとの闘病記を備えることを追加してほしい。	C	自殺対策の取組を検討するにあたり、参考とさせていただきます。
48	エ	がん患者の自殺対策として、医師に対しても心理的側面についての研修を行ってほしい。	B	がん患者の自殺対策として、医療従事者を対象にした研修等の開催についても記載しています。
49	イ	ピロリ菌検査は、学校での尿検査の検査項目には含まれていないので、各家庭の判断で、かかりつけの病院で受けられるようにしてほしい。	C	学校でのピロリ菌検査については、市町村や関係機関等の意見を聞きながら、今後の方向性を検討します。
50	イ	妊孕性温存療法に係る医療費は高額で、保管料維持にも負担がかかるので、助成金を増額してほしい。	C	妊孕性温存療法等の助成事業を検討する上で、参考にさせていただきます。
51	イ	妊孕性温存生殖医療携の推進において、医療者と患者・その家族とのつながりも極めて重要ではないか。	B	今後の取組を進めるにあたり、十分留意していきます。
52	ウ	高齢者のがん対策について、人的・金銭的な問題が多い。行政がどのように関与していけるかを早急に検討するべきではないか。	C	今後の施策を進めるにあたり、参考にさせていただきます。
53	エ	小児がん患者・家族への長期フォロー及び就労支援体制を早急に整えるべき。 社労士派遣だけでなく、キャリアコンサルタントや就労支援機関の活用を要請するべき	B	御意見の趣旨を踏まえて、今後の取組の中で進めていきます。
54	エ	大人のがん教育に取組んでほしい。	C	今後の施策を進めるにあたり、参考にさせていただきます。
55	エ	治療と仕事の両立支援について、企業の理解の推進を図るべきである。	B	御意見の趣旨を踏まえて、今後の取組の中で進めていきます。
56	ア	全体目標の説明の中で、がんとの共生の例として「仕事の継続」が強調されていると感じるため、見直してほしい。	A	御意見の趣旨を踏まえ、修正します。
57	ア	全体目標について、がん患者への差別や偏見、誤解を解消するべき旨を明記してほしい。	C	今後の施策を進めるにあたり、参考にさせていただきます。
58	イ	5大がん以外の検診を実施している市町村には、改善を求めるだけでなく指導をしてほしい。	C	今後の施策を進めるにあたり、参考にさせていただきます。
59	イ	正しい医療知識の情報を発信してほしい。	B	情報提供の施策として記載しています。
60	エ	多様性確保の観点から、さまざまな患者会、患者体験者が神奈川県と連携するべきではないか。	C	今後の施策を進めるにあたり、参考にさせていただきます。
61	イ	医療知識の情報に誤解を招く表記には改善を求めてほしい。	D	県のがん対策の施策として反映することはできません。

62	エ	ピアサポーターとしては、がん種を含め多彩な人材の育成につとめるべきである。	B	ご意見の趣旨を踏まえた上の記載になっています。
63	オ	患者への医療情報の提供対応が病院によって異なるので、統一してほしい	C	今後の施策を検討するにあたり、参考にさせていただきます。
64	カ	病院に、術後の後遺症や薬の副作用の相談をする部門を作してほしい。	C	今後の施策を検討するにあたり、参考にさせていただきます。
65	ウ	「支持療法の推進」の課題にリンパ浮腫について記載してほしい。	C	今後の施策を検討するにあたり、参考にさせていただきます。
66	ウ	「支持療法の推進」の施策にリンパ浮腫について記載してほしい。	C	今後の施策を検討するにあたり、参考にさせていただきます。